

ほのほのだより

～季節の歌を手話で歌おう～

6月の歌は「あめふりくまのこ」です。

今月は「あめふりくまのこ」の手話を紹介します。雨の多くなるこの時期にぴったりの1曲です。かわいい歌詞に合わせた手話。少し歌詞も長く、難しい所もありますが、「見る」「雨」など分かりやすい手話もあるので、子供たちに伝え一緒に楽しく歌っていきたいと思います。

1. おやまに



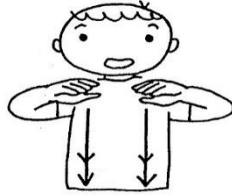
右手のひらを下に向け、左側から右側へ大きく山を描く。

2. あめが
ふりました



両手のひらを下に向け、肩の前でリズムにあわせて上下に振る。

3. あとからあとから
ふってきて



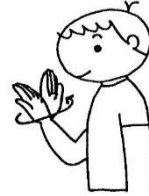
2.と同じ

4. ちよろちよろおが
わができました



右手のひらを上に向け、左肩あたりから斜め右下へゆらゆらさせながらおろしていく。

15. それでも



右手のひらを外に向け、クルッと手首を回転させて手のひらを自分に向ける。

16. どこかに いるようで



右手を湾曲して前に出してから、人さし指を上から小さく左右に振る。

17. もいちど
のぞいて



右手人さし指と中指を上から、人さし指を上からクルッと手首を回転させる。

18. みてました



10.と同じ

5. いたずら



両手をげんこつにし、両脇で2回上下に振る。

6. くまのこ



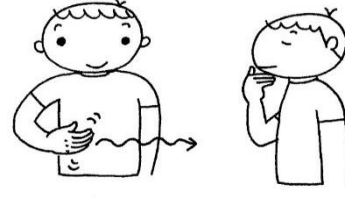
右手の親指と人さし指の先をくっつけて首の左側から右側へ移動させ、指先を離して三日月を描きながら右側で再び指先をくっつける。

7. かけてきて



両手をげんこつにして、両脇でそれぞれ前後に振る(走る表現)。

19. さかなを まちまち



右手のひらを自分に向け、右側から左側へユラユラ手首を振りながら移動させてから、指の甲側をあごにあてる。

20. みてました



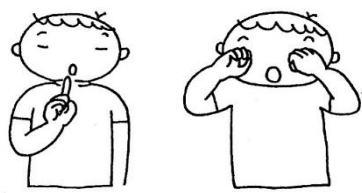
10.と同じ

21. なかなかやまな
い あめでした



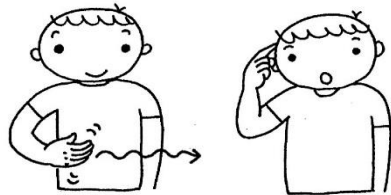
2.と同じ

8. そっと のぞいてみました



右手の人さし指を立てて口に当ててから、両手を筒にして目にあてる。

9. さかなが いるかと



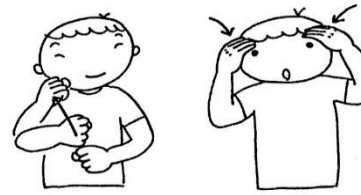
右手の親指と人さし指の先をくっつけて首の左側から右側へ移動させ、指先を離して三日月を描きながら右側で再び指先をくっつける。

10. みてました



両手を筒にして目にあてる。

22. かさでも かぶって



両手をげんこつにして積み重ね、上になったげんこつを上へあげてから、両手を頭にのせる。

23. いましようと



右手親指と人さし指を広げて、あごの下から小さく斜め前に出すと同時に指先をくっつける。

24. あたまに



右手人さし指を頭にあてる。

11. なんにも ないと



両手のひらを下に向け、首の前から円を描きながら腹の前で手のひらを上に向ける。次に、左手のひらを下に向け、右手親指を上へあげてほかの指を左右に振る。

12. くまのこは



6.と同じ

13. おみずを ひと
くちのみました



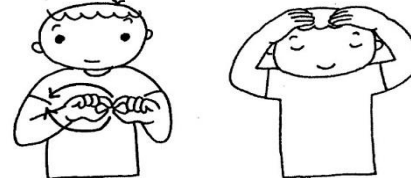
右手のひらをクルッと後ろへ半回転する。

14. おてで すく
ってのみました



両手で水をすくって飲む表現をする。

25. はっぱを のせました



両手の親指と人さし指の先をつけ合わせ、右手親指と人さし指を開いて円を描き、指先をくっつけてから両手を頭にのせる。

ワンポイント



13.「のみました」は、本来の手話表現は上記の方法だが、子どもが表現する場合は13.の表現のほうがかわいい。

手話でうたおう子ども歌
「音楽之友社」より引用